

シラバス記載モデル

時間割番号：9999 科目区分：教職専門科目 2単位 後期：水曜日 1・2時限
授業科目名：生徒理解と指導（進路指導を含む） 教員名：〇〇〇〇
授業の方法：講義 該当する年次：学校2、他

到達目標

本授業の到達目標は、下記の4点である。

- ①生徒指導（進路指導）の意義と課題を理解している。
- ②青年期の心理と多様な生徒理解の方法を理解している。
- ③学校で生起する生徒指導上の諸問題への対応と方法を理解している。
- ④生徒指導における教育相談の意義と進め方を理解している。

関連するSDGsの目標



授業の概要

この科目においては、学校現場で課題となっている〇〇を主なテーマに、生徒の〇〇について理解を深めていきます。教職科目として〇〇の意義への関連も・・・。

非常勤講師は記載不要

Cuffet 項目（学部）

5. 子ども理解

P-Cuffet 項目（大学院専門職学位課程）

—(P-Cuffet 項目)— 1. 現代社会と学校教育等との関連 6. 学校マネジメント・関係者支援

カリキュラム・フレームワーク項目（大学院修士課程）

—(カリキュラム・フレームワーク項目)— 2. 研究力 3. 社会に貢献する力量

授業計画（内容と方法）

授業は原則として、Teams ビデオチャットを用いたリアルタイム方式で行います。また、授業の資料（電子データ）配布や課題提出は、Moodle を用います。

対面授業の実施については、授業内で説明します。

第1回目の授業は、非対面で行います。事前にチームコード(abcdef)を入力してチームに参加し、授業時間になりましたら Teams の一般チャンネルからビデオチャットに参加してください。

注)参加コード・URL 等を書く場合、ご自身でよく確認の上、正しく記載してください。

すべての生徒の健全な発達を促す生徒指導の視点から、思春期・青年期の心理に触れながら生徒指導上の諸問題について講義と演習を織り交ぜて行う。概ね、下記の内容で進める。

- 1 オリエンテーション・生徒指導の意義と課題
- 2 生徒指導の原理
- 3 青年期の心理と生徒指導
- 4 生徒理解
- 5 生徒指導と教育課程
- 6 進路指導の意義と課題
- 7 進路指導の原理と方法
- 8 学校における生徒指導・進路指導体制
- 9 生徒指導における教育相談の意義と進め方
- 10 進路指導における教育相談の意義と進め方
- 11 青少年非行の現状と対応
- 12 いじめの現状と対応
- 13 不登校の現状と対応
- 14 開発的・予防的視点にたつ生徒指導の在り方
- 15 まとめ
- 16 試験（試験を実施しない場合は、記載は不要です。）

テキスト、参考図書、教材等

必要に応じて資料を配布する。以下、参考図書

- 〇〇〇〇監修「図説生徒指導と教育臨床」北大路書房 1993
- 〇〇〇〇「いじめ解決への教育的支援」日本教育新聞社 1997
- 〇〇〇〇他編「心の教育とカウンセリングマインド」東洋館出版社 1999
- 〇〇〇〇総監修「学校カウンセリングの理論と実践」ナカニシヤ出版 2007

評価方法

- ①最終試験にて、学習内容に関する知識・理解の定着度を到達目標に照らして評価する。(評価割合：60%)
- ②生徒指導に関する意欲・授業への取組み態度の評価を以下で行う。
 - ・毎回の「感想ノート」の提出 (評価割合：15%)
 - ・生徒指導に関するレポートの提出2回<課題は、講義中に提示> (評価割合：25%)

準備学習・時間等

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと (目安時間 60 分)。また、毎回の授業の最初に前回の授業内容について小テストを実施するので、よく復習しておくこと。

実務経験のある教員等による授業科目

本授業は、以下の実務経験のある教員により、実務経験を生かして実施します。

- 担当教員
 - 教員養成実施指導講師
 - ゲスト講師
- (自由記述欄)

中学校の現場経験を持つ担当教員が、学校現場での経験を生かして、生徒指導に係る実践的教育を行っている。

受講上の注意、メッセージ等

生徒指導に関する知識の獲得、演習によるスキルの獲得、感受性の開発の3つをキーワードに進めます。up-to-date な問題も取り上げますが多様な視点からの確に対応できる教員の養成を目指します。

メールアドレス：・・・・@cc.nara-edu.ac.jp